

**平成25年度第2回
生涯学習教育研究センター運営委員会議事要旨**

○日 時：平成25年5月17日（金） 15：30～16：00

○場 所：地域国際学習センター3階 304教室（学習相談室）

○議 題：【審議事項】

1. 生涯学習教育研究センター教員選考結果について（資料1）
2. 法文学部プロジェクトの件について（追加議題）

【報告事項】

1. 平成24年度生涯学習教育研究センター予算執行報告及び
平成25年度予算執行計画について（資料2）

○出席者（9名）：真栄城勉（生涯学習教育研究センター長）、背戸博史（生涯学習教育研究センター教授）、本村真（法文学部准教授）、大島順子（観光産業科学部准教授）、安里英治（理学部教授）、遠藤由美子（医学部准教授）、長山格（工学部准教授）、立田晴記（農学部准教授）、西本裕輝（大学教育センター准教授）、里井洋一（教育学部教授【委任状拝受】）

○陪席者：下地孝之（地域連携推進係長）、玉城優里（地域連携推進係 係員）

始めに、真栄城委員長より、前回の委員会の議事に対して意見・訂正等があれば、後ほど地域連携推進課へ連絡するよう発言があった。

◆審議事項1 生涯学習教育研究センター教員選考結果について

生涯学習教育研究センター教員選考結果について、真栄城委員長より資料1に基づき次のとおり説明があった。

教員の採用については、琉球大学生涯学習教育研究センター教員選考内規等に基づき、3回の教員選考委員会において候補者の経歴および教育・研究業績を厳密に審査し、検討を行った。その結果、柴田氏を講師としての資格を有するものと判断した。選考委員会での審議結果について、運営委員会で承認を頂ければ、早急に学長へ上申することとしたい。

このことについて、以下の質疑応答があった。

・部局においては、主要科目は必ず准教授である必要があるという全学的な決まりに縛られることもあるが、当センターでは関係ないのか。（本村）

→当センターでは、授業に関わって准教授でなければならないというようなことはない。今回は選考内規の規定に鑑み、経験年数から講師相当と判断したが、特に問題はないと思われる。

・参考までに公募の際の条件・内容を教えてほしい。（長山）

→教員採用等計画書（資料1－5）と同様の内容で公募を行っており、JREC-IN（研究者人材データベース）にも掲載した。

運営委員による投票の結果、生涯学習教育研究センター教員の採用について、全会一致で承認された（有効投票数9票、承認9票）。

◆審議事項2 法文学部プロジェクトの件について

法文学部プロジェクトについて、本村委員より追加資料に基づき次のとおり説明があった。

法文学部の概算要求プロジェクトとして、離島地域の振興にかかるプロジェクトが昨年度より進められている。その中で、今年度は「Sketches of Myahk」（宮古島を題材とした映画）の上映会を行うことを計画している。その際に学内および県内における、離島（宮古に限らず）と連携・協力して活動を行っているような団体（約8～10団体）を集め、活動の紹介等も含め、一言ずつお話を頂くことを予定している。それぞれの課題等を共有する場を設定し、緩やかなネットワークに繋がるような企画にしたいと考えている。そこで、当センターで実施している「知のふるさと納税」についても一言紹介していただけないか。また、センターあるいは各部局の運営委員を通して、学内の離島と連携・協力して活動を行っている方々の情報収集をお願いしたい。

このことについて、当該企画へ当センターからも参加し、活動の紹介を行うこと、および地域連携推進課を通して学内の離島に関わる活動についての情報提供を行うことでの了承された。また、真栄城委員長より、各部局等からの協力についても依頼があった。

◆報告事項1 平成24年度生涯学習教育研究センター予算執行報告及び平成25年度予算執行計画について

平成24年度生涯学習教育研究センター予算執行報告及び平成25年度予算執行計画について、下地地域連携推進係長より資料2に基づき、次のとおり説明があり了承された。

平成24年度の予算執行については、大学開放事業費の大幅な執行超過を、研究基盤経費、教育基盤経費、運営管理費によって補っており、配分予算の99%の執行となっている。また、平成25年度予算においては、平成24年度予算の2%減（全部局一律）となっており、配分額は昨年度と比べ約30万円の減となっている。今年度も厳しい予算状況となるが、執行計画を万全に行いながら事業を進めたいと考えている。

以上